

# 学校概要

令和元年6月28日



東京都立南多摩中等教育学校

Tokyo Metropolitan Minamitamama Secondary Education School

# 南多摩のアドバンテージ①

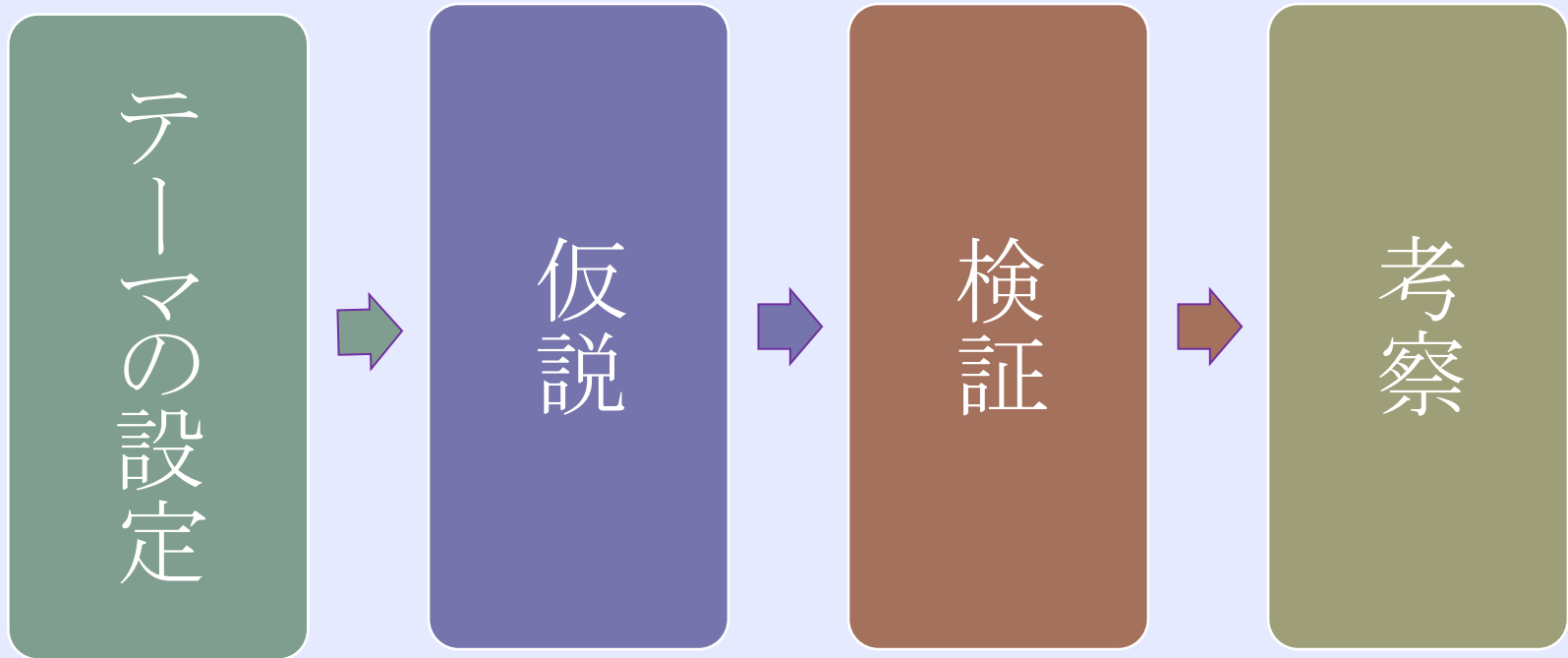
## ◆フィールドワーク活動（探究学習）

知識注入型 → 知識活用型

- 何を調べるかを見つけることから始める
- 調査・研究方法を学ぶ
- 問題解決に取り組み、考えをまとめ、結果を発表する

1年	地域調査(グループ)	多摩地域に関する調査
2年	モノ語り(グループ)	モノに着目して調査・研究
3年	科学的検証(グループ)	科学的検証実験・調査
4・5年	論文作成(個人) (ライフワークプロジェクト)	自身のキャリアとの関連

# 探究のプロセス



新たな疑問

探究のプロセスを各学年に意図的・計画的に配置

# 南多摩の探究活動の流れ

積み上げ

4・5年 ライフワークプロジェクト  
論文作成

3年 科学的検証活動  
検証実験を行い科学的に検証

2年 モノ語り  
モノに着目した調査

1年 地域調査  
多摩地域の調査

# 1年 地域調査

身近な多摩地域をテーマに探究活動

「明らかにする」

- ・直接訪問・聴取する(フィールドに出る)ことから、  
明らかに(熟知・理解)する

# 第1回 地域調査



班で話し合い、様々なフィールドへ赴き、話を聞く

# 2年 モノ語り

## 出版の過程を学ぶ探究活動

## モノ語りとは「探る」こと

・対象物(モノ)について、6つの視点からモノ語る

①生活との関わり

②起源・歴史・変遷

③開発コンセプト

④機能やデザイン

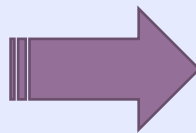
⑤取扱い方法

⑥エピソード・○○物語

# 2年・モノ語り



東京探索  
様々な〈モノ〉作りの  
現場を訪れ、話を聞く



世界に一冊しかない〈本〉の完成





# 3年 科学的検証活動

## 「検証する」 (確かめる)

本校で言う《科学的検証活動》は、  
事実や真実とされる事物について、  
既に示された方法や手法を用いて  
確かめる、あるいは新たな方法を  
工夫して確かめることである

# 身近な素材で実験や観察をする



# 首都大学東京で探究活動を発表



発表に対して、

- ・生徒同士の質問
- ・大学院生、大学教員からの  
質問・アドバイス

## 4・5年 ライフワークプロジェクト

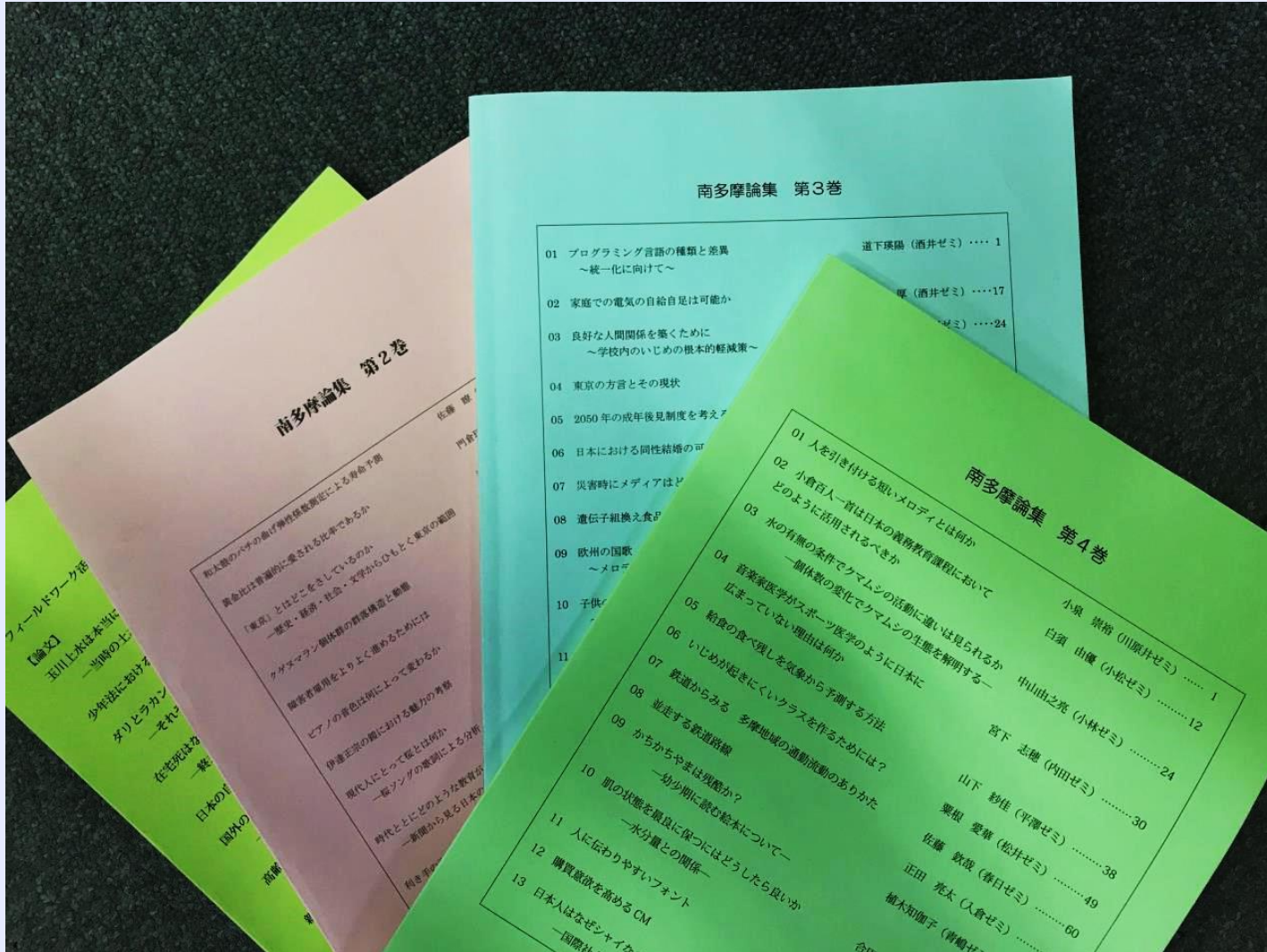
### 「研究する」「著す」

- ・仮説を立て、その「か？」を取り払うための  
妥当かつ可能な検証方法を練り、  
実際に取り組む
- ・仮説の正当性・妥当性を著して広める

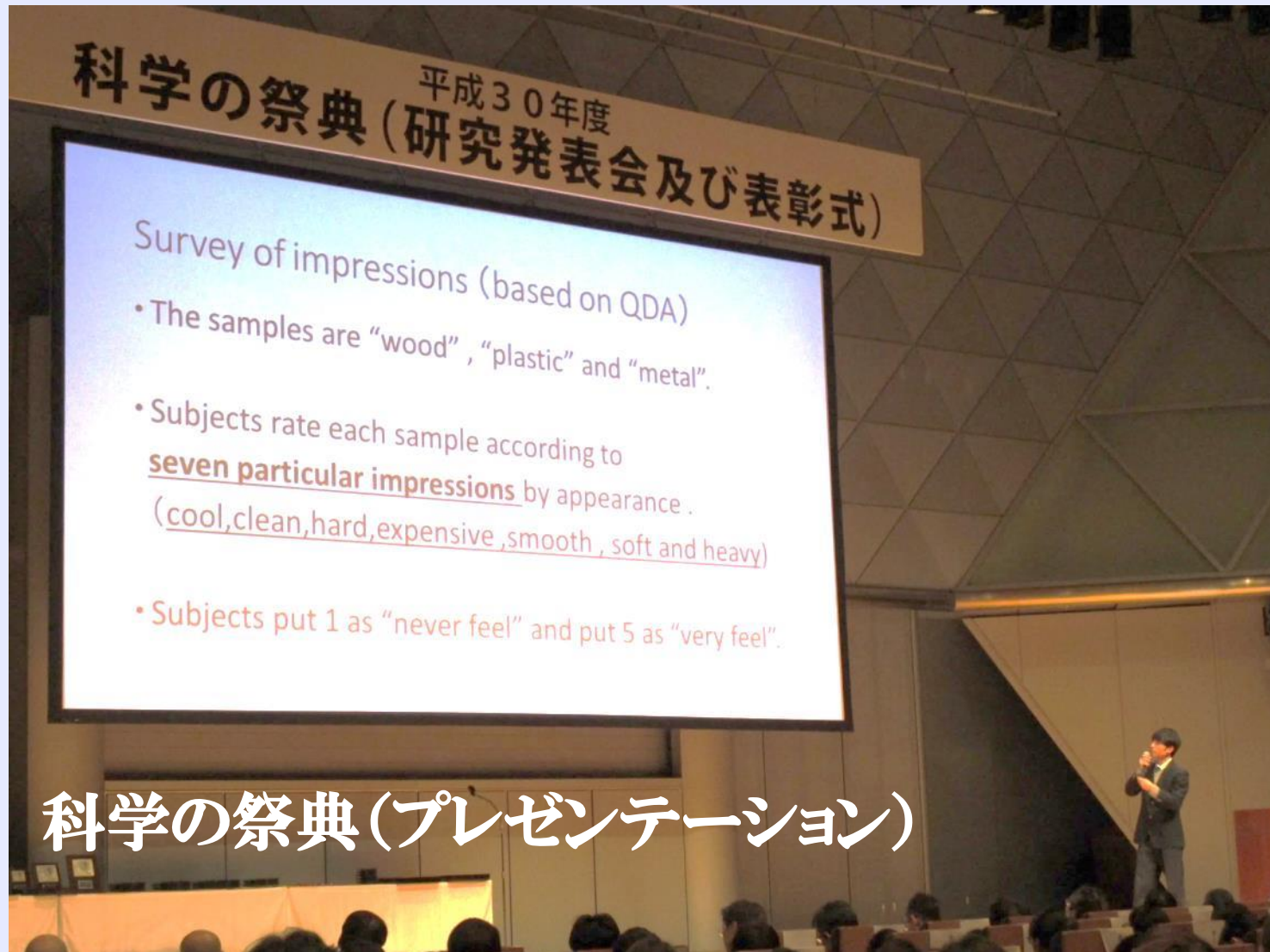
# TAも加わり、ゼミで議論をする



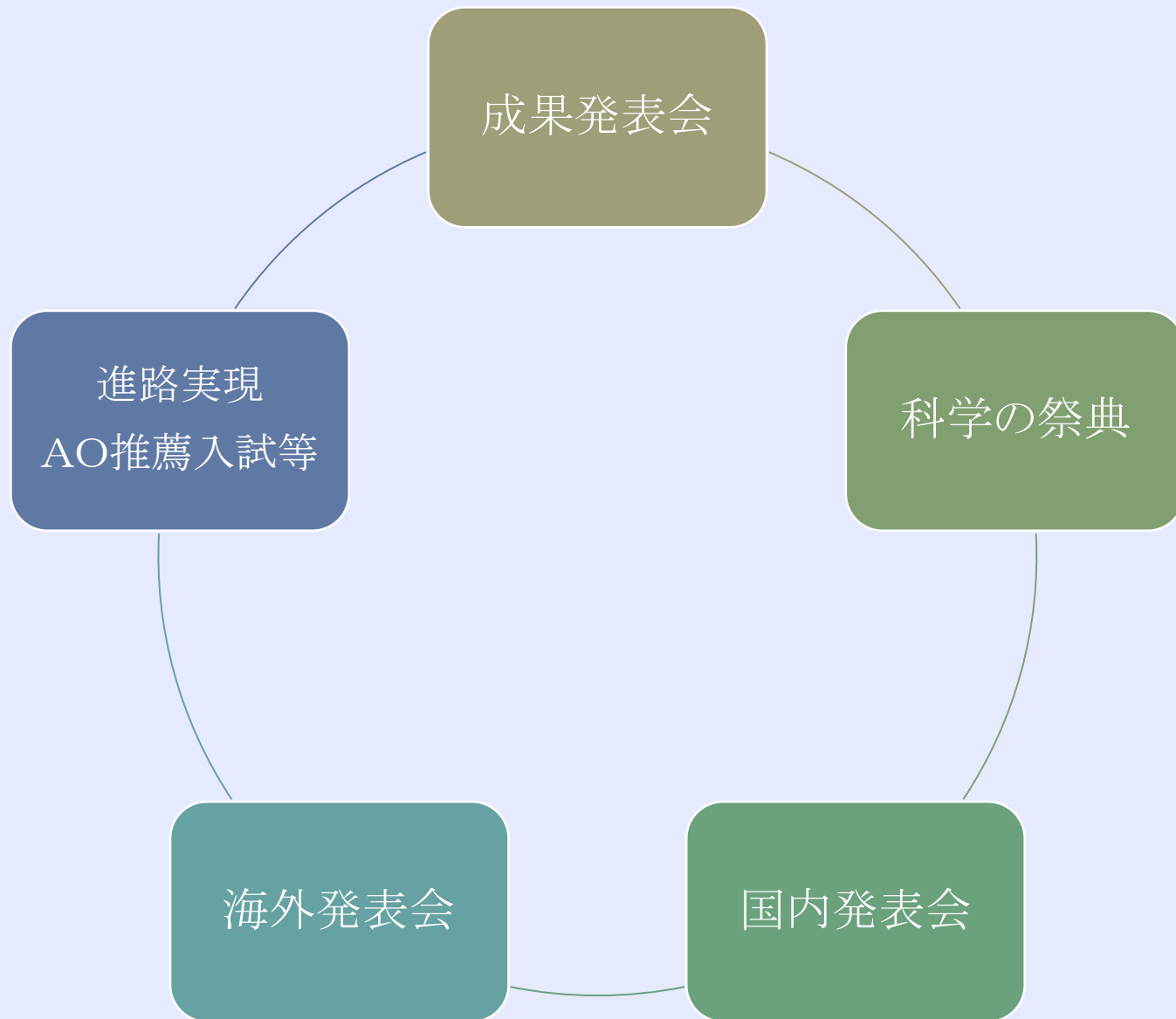
# ゼミ代表生徒を南多摩論集に



# 探究活動の成果を外部に発信



# 自分の探究したことを世界に向けて発信する





# 南多摩のアドバンテージ②

## 1 目指す生徒像を明確にしたグランドデザイン

- ① フィールドワーク活動と連動したキャリア教育
- ② 6年間のストーリーを踏まえた多彩な教育活動

都教育委員会からの指定校・推進校

- 知的探究イノベーター推進校(H29～R2)
- 理数リーディング校(H30～R2)
- 英語教育推進校(H28～R2)
- BYOD研究指定校(H30～H31(R1))

文部科学省指定 WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校

(R1からR3)

- 高度な学びの場の提供

## 2 課題を真摯に捉え組織的に解決できる教員集団

# 東京都教育委員会からの指定校事業

## ① 知的探究イノベーター推進校としての取組

自ら課題を発見し、多面的、多角的な思考を通して課題を解決していく力、探究力を育成

・ティーチングアシスタントの活用



## ② 理数リーディング校としての取組

科学に対する興味・関心を一層引き出し理数に秀でた人材を育成

・京都大学・東京大学等研究室訪問

## ③ 英語教育推進校としての取組

4技能のバランスの取れた指導

到達目標はCAN-DOリストに(CEFR・A2は3年終了までに取得)

・「Global Scholars」の実践(1～3年・希望者)

インターネット(スカイプ)による国際交流事業(世界40カ国の参加)

日本初の参加校として学校間交流を実施(年間7カ国8都市)

・オンライン英会話(3年)

・オーストラリア研修旅行(4年)

・Reading & Discussion 講座(4～6年・希望者)

## ④ BYOD研究指定校による取組

隙間時間の活用による学習時間の確保

AIによる生徒の個の学力把握、授業改善

振り返り学習を通じたメタ認知能力の育成、論文の質の向上

◆ 普通教室及び図書館にwifi環境を整備



# 文部科学省指定 WWLコンソーシアム構築支援事業

文部科学省WWLコンソーシアム構築支援事業

管理機関 **東京都教育委員会** Diverse Link Tokyo Edu (DLTE)

拠点校 **東京都立南多摩中等教育学校**

- ①文理融合及び探究学習を深めるカリキュラム開発
- ②高校生国際会議への参加
- ③本校独自の探究学習のテキスト作成
- ④CLIL（内容言語統合型学習）の実践

共同実施校  
東京都立白鷗高等学校  
附属中学校

事業連携校  
東京グローバル10 指定校等



海外教育省・在京海外機関等

グローバル企業・NPO等

海外大学・高校等

国内大学

スペシャルアドバイザー

# 文部科学省指定 WWLコンソーシアム構築支援事業 拠点校に決定

## 【新教科の設定を検討】

### データ分析(3年)

技術・家庭科を削除、データの分析に関する内容を先取りして学ぶ

### 地球探究(4年)

「地理」「地学」の内容を中心に「地球」について学ぶ

### MIE (Mathematics in English)(5年)

SAT(米国大学進学適性試験)の数学テキストを使い学ぶ

### Pensée(6年)

現代社会と連携して課題解決学習を中心に行う

# 文部科学省指定 WWLコンソーシアム構築支援事業 拠点校に決定

美術の授業をCLILで試行



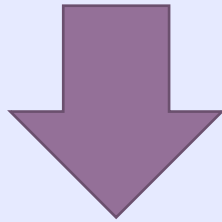
# 探究の方向性

## Local 型探究から

## Cross the Border型探究へ

### ● Local 型探究

前期課程はグループで身近な地域やモノ、事象を対象にした探究活動



### ● Cross the Border型探究

後期課程は個人で、広い視野をもって社会や世界とつながる、より深い思考をする探究活動

# さらに深みのある探究活動に向けた南多摩の取組①

## 南多摩の新たな取組

### ●グローバル問題研究会の発足

#### 1 目的

- ①人文科学・社会科学的な課題に関する探究活動を行う
- ②SDGsなどグローバルな課題に関する探究活動を行う
- ③人文科学・社会科学に関するコンテスト等に参加する
- ④研究の成果を他の生徒に広げる
- ⑤総合選抜型入試等への対応を研究する

#### 2 対象生徒 本校3年～6年

この研究会は文系・理系の垣根はありません。

「**Cross the Border** 国境も限界も文理も超えて」が目標です。

前期・後期を問わず、社会で学ぶ機会をとらえ、**生徒の視野を広げ、深い思考**につながる機会を提供し、**探究活動に深みを増す活動**をめざす。

# さらに深みのある探究活動に向けた南多摩の取組①

## 南多摩の新たな取組

### ①グローバル問題研究会を核にした取組

	名称	主催	対象	参加形態
1	第15回青少年英語スピーチコンテスト	ライオンズクラブ国際協会	後期	個人
2	国際ユース作文コンテスト	公益財団法人五井平和財団	前後期	個人
3	2019年自治医科大学小論文コンテスト	自治医科大学	後期	個人
4	起業創業ラボ	東京都教育委員会	後期	個人
5	第7回高校生ビジネスプランコンテスト	日本政策金融公庫	後期	グループ
6	「世界津波の日」2019高校生サミット	北海道・北海道教育委員会	後期	個人
7	国際協力中高生エッセイコンテスト	JICA	後期	学年
8	NRI学生小論文コンテスト2019	野村総合研究所	後期	学年
9	キッズウィットネスニュース日本	パナソニック	前期	グループ
10	給食におけるマイクロプラスチックを考える		前後期	個人・部活動



# さらに深みのある探究活動に向けた南多摩の取組②

## 南多摩の新たな取組

### ②本校教員と大学教員の情報交換会

～教員の能力向上と高大接続～

・東京外国語大学 (8月9日に実施予定)

#### 1 目的

- ① 大学教員との情報交換を通じて円滑な高大接続のあり方を研究する。
- ② 大学における研究のあり方を知り、本校の探究活動の高度化を図る。
- ③ 生徒の視野を広げる教育のあり方について研究する。

#### 2 協議内容

- ① 文系ゼミの運営について
- ② 文系テーマの論文指導について
- ③ 異文化理解、言語教育の進め方について
- ④ 高大接続のあり方について

# さらに深みのある探究活動に向けた南多摩の取組③

## 南多摩の新たな取組

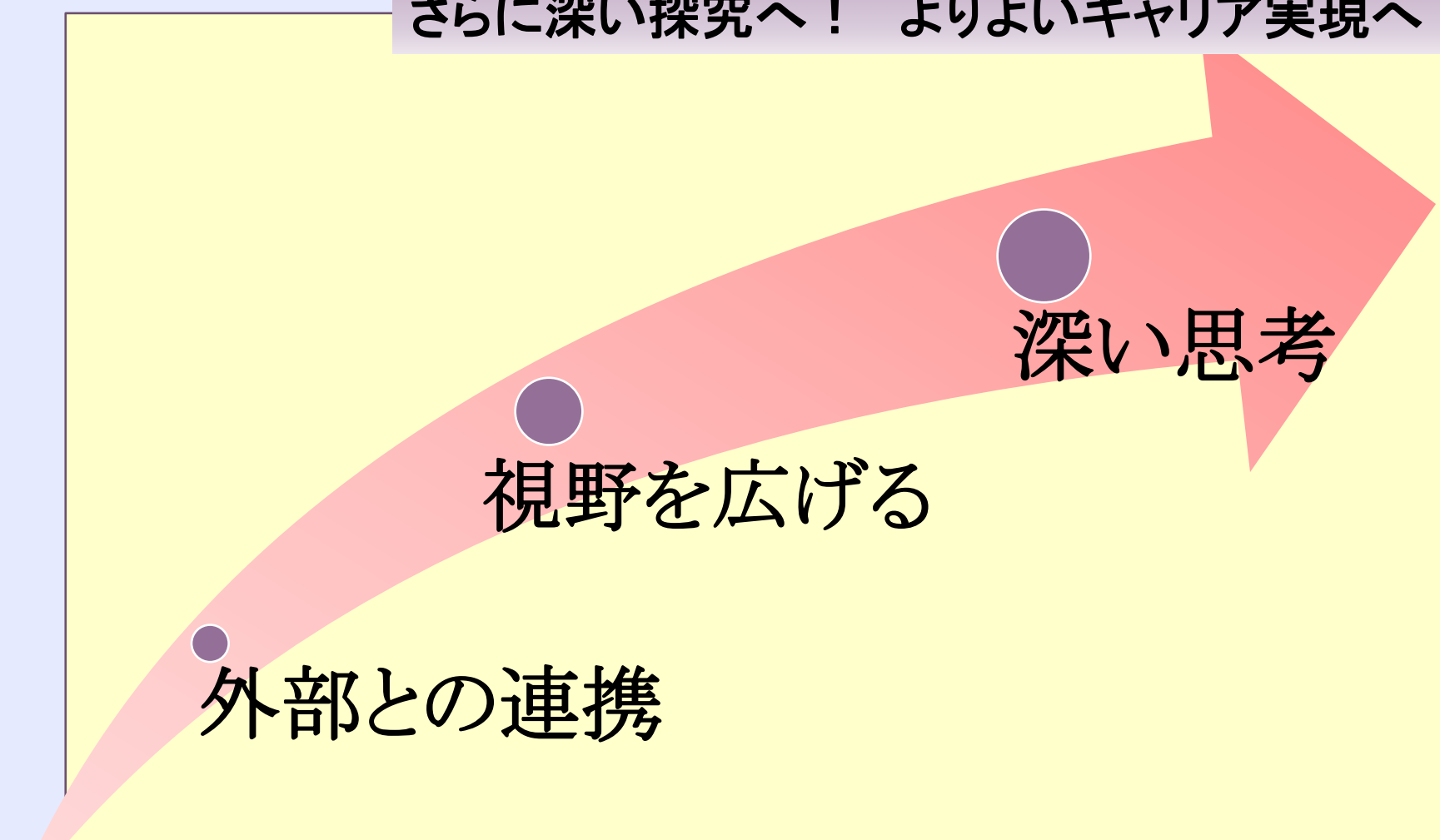
### ③企業との連携

- (株) 富士通研究所の企業見学
- (株) ヤクルト職員による講演会
- (株) オリンパス見学
- ビジネスプランコンテスト  
参加への助言



# 多角的・多面的で深い学びへ

さらに深い探究へ！ よりよいキャリア実現へ！



外部との連携

視野を広げる

深い思考

WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校

# 今年度実施の取組



- 東京大学 西成教授による講演会(4年生対象)
- 國學院大學 田村教授による「探究」活動視察
- OECD教育局アンドレス・シュライヒャー氏講演会参加 「教育を科学する」
- OECD教育局分析官と協議
- 企業とのPBL型ワークショップ  
Classi社からの課題に生徒が応える



# 新たな生徒の実績

## ★6年 女子生徒

少年少女国連大使育成事業(日本青年会議所)

7月28日から8月4日まで

スイス(ジュネーブ)、スウェーデン(マルメ)

## ★5年 青少年スピーチコンテスト出場(6月)

DLTE特別セミナー参加(7月7日)

起業創業ラボ参加(7月から9月)

「世界津波の日」2019高校生サミット参加(9月)

## ★4・5年 SDGsに関する作文・論文コンテスト応募

## ★2年 女子生徒

国立市青少年海外短期派遣事業

7月23日から7月29日まで、シンガポール

# 成果検証について

## ①生徒の成長を測る

思考力・判断力・協働性・探究力の評価

●各種アンケート 成果物 評価試験等

●生徒の経験を他の生徒と共有して、多くの生徒の成長を促す <ピア・アセスメント(相互評価)>

## ②学校の教育力を測る

教員の指導力及び

生徒の資質・能力の向上を評価

①の指標を校内で評価し、外部評価を受ける。

例) 成果発表会後の有識者を交えた協議会の開催

教員間の相互交流を通じた切磋琢磨の機会

●事業の有効性、効率性を検証する。

御清聴ありがとうございました。



東京都立南多摩中等教育学校

Tokyo Metropolitan Minamitamama Secondary Education School